

第4回杉並区行政評価検討委員会 次第

平成13年12月17日

午後2時 / 西棟6階第5・6会議室

1 開 会

2 送付資料等の確認

3 議 事

(1) 政策指標等検討小委員会検討結果報告(副会長)

(2) 質疑及び検討

区民アンケート掲載指標について

指標の数と体系について

ベンチマークの名称(愛称)について

4 閉 会

配布資料一覧

- 1 杉並区ベンチマークの検討案・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料1(HP掲載)
- 2 杉並区ベンチマークの考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料2(HP掲載)
- 3 政策指標等検討小委員会議事録・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料3(HP掲載)
- 4 第3回杉並区行政評価検討委員会の発言要旨等・・・・・・・・・・資料4(掲載なし)
- 5 ベンチマーク事例集(小委員会メンバーには配布済み)・・・資料5(掲載なし)
- 6 委員提案・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料6(HP掲載)
- 7 ざいせい2001・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・参考(掲載なし)
- 当日配付された資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・番号なし(HP掲載)

資料4、5と参考資料は、ホームページには掲載していません。

杉並区ベンチマークの検討案

大指標 (代表指標)	中指標	小指標	杉並区施策指標
A.安全・安心 ～セーフティネット ◆駅前放置自転車の台数(災害時に危険) ◆耐火耐震建物率 ◆救急車到着時間	○狭あい道路整備率 ○区民1人あたりの自転車台数(△) ○交通事故死亡者数(交通事故統計) ○犯罪発生率 ○耐震補強済み学校数 ○防災・防犯活動団体数 ○杉並区を安全・安心なまちだと思う区民 ○区内在住職員比率(△)	・空地率 ・住環境に満足している区民の割合(ア) ・昼夜間人口比率	・住民参加で行ったまちづくり事業の面積率 ・区が行うまちづくり支援施策に応募した団体、個人の数(高齢者、障害者の参加割合)
		・荻窪駅のバス乗降客数 ・エレベーター、エスカレーターのある駅の数	・都市計画道路の完成率 ・南北バス(すぎ丸)の利用者数 ・不法占用指導件数
B.緑・環境 ～都市環境 ～文化・アメニティ ◆1人あたりごみ処理量 ◆1人あたりの電力消費量(△東電より) ◆図書館貸し出し冊数or利用者数	○区役所のエコカー導入率 ○公共施設の緑化率(△) ○公共施設の屋上緑化面積(△) ○みどり・環境保全活動団体・個人数 ○文化活動をしている団体・個人数 ○文化的な生活時間(△、NHK) ○若者を引き付けるまちの魅力度ランキング(△、アクロス) ○杉並区に住み続けたい人の割合(緑が多い・環境がよいので)	・人口1万人あたりの交通事故による死傷者数 ・高齢者事故件数 ・自転車事故件数 ・小学校登下校時の事故数	・自転車放置率 ・自転車駐車場利用率
		・区営住宅供給の計画達成率 ・最低居住水準未達の世帯比率 ・区民一人あたりの住宅床面積	・緑被率 ・区内の親水整備箇所数 ・みどりと水のふれあいに満足している区民の割合(ア)
		・一人あたりの公園緑地面積 ・公園等自主管理の箇所数、割合	・杉並区のみちを美しいと思う人の割合(ア) ・誘導施策対象地区面積率 ・違反看板等の撤去数
		・ごみの散乱状況度 ・クリーンデー参加人数(人/日) ・1人1日(年間)あたりの排出ごみ量 ・リサイクル率	・ISO14001取得区内企業数 ・環境に関する活動に参加した人数 ・杉並区全体の温室効果ガスの発生量
		・大気質測定数値(NO ₂ 、O ₃ 、SPM) ・自動車交通騒音レベル ・公害(6大)苦情発生件数	・1tあたりのごみ処理費用 ・1人あたりのごみ処理費用
		・老朽建物の割合 ・木造建物の割合 ・地震時に通れなくなる道路の割合	・年間の延水害件数 ・地下調節池の年間使用回数
		・震災対策について理解、認知している区民の割合(ア) ・防災に関する地域活動を行っている個人、団体数 ・家庭内の防災対策実施率(ア)	

<p>C.健康・福祉 ～高齢者 ～ハンディキャップ ト</p> <p>◆健康寿命(65歳以上要介護認定までの平均自立期間)</p> <p>◆子供の生活習慣病(罹患)率</p> <p>◆人口当たり福祉マンパワー(高齢・障害別)</p>	<p>○要介護認定新規認定者平均年齢</p> <p>○医者にかかった回数</p> <p>○国保1人あたり医療費</p> <p>○1人あたり老人医療費</p> <p>○平均寿命</p> <p>○区民の健康診断受診率</p> <p>○公共施設のバリアフリー度</p> <p>○保育園学童クラブ待機児童数</p> <p>○区内企業障害者雇用率(△職業安定所)</p> <p>○12歳までにすべての予防接種を終了している人の割合</p> <p>○若年者結核罹患率</p> <p>○法定伝染病罹患率</p> <p>○福祉ボランティア(点字、手話等)数</p> <p>○杉並区に住み続けたい人の割合(福祉が進んでいるので)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりに関するグループ・ボランティア・NPOなどの数 ・自分は健康だと思ふ区民の割合 ・公共施設の分煙化率 ・早世した人の割合(65歳未満死亡率) ・この1年間に健康診断を受けた区民の割合 ・健康習慣実践者の割合 ・保育園待機率 ・保育園定員の割合 ・保育園利用者の満足度 ・病後児保育利用数 ・年末保育利用数 ・子育て等相談件数 ・地域子育てネットワーク事業参加者数 ・子育て仲間や相談できる人がいない保護者の割合 ・障害児療育対応率 ・障害児療育対応数 ・学童クラブ待機率 ・18歳未満の人口のうち児童青少年センター及び児童館の1日当たり利用者数の割合 ・生徒の非行率 ・一人親家庭ホームヘルプサービスを利用した世帯数 ・児童手当受給者数 ・高齢者で生きかいかを感じている人の割合【ア】 ・週2回以上外出している高齢者の割合【ア】 ・地域活動やボランティア活動、または働いている高齢者の割合【ア】 ・介護保険新規認定者の平均年齢 ・要介護認定者の割合 ・介護予防サービス利用者のサービス利用後に、悪化していないと評価された人の割合 ・介護サービスの利用率 ・介護保険サービスの満足度(率) ・特別養護老人ホームの入所率 ・障害者が土・日に外出している割合 ・知的障害者一般就職率 ・心身障害者ホームヘルプサービス利用率 ・障害者のうち現在の生活に満足している人の割合【ア】 ・外出したいのに外出に著しい支障を感じる障害者の割合 ・人口1万人あたりの福祉マンパワー ・車いすで利用できる一般区民の利用可能な区の施設の割合 ・生活保護率 ・自立による生活保護廃止世帯率 ・保険料の収納率 ・国保加入率 ・一人当たり療養給付費 ・杉並区に住所がある20歳以上、60歳未満の自営業者、学生などの当該年度国民年金への加入達成率 ・国民年金・老齢関係年金受給率 ・かかりつけ医、歯科医の両方を持っている人の割合 ・救急医療体制に安心感を持っている人の割合 ・12歳までにすべての予防接種を終了している者の割合 ・食品の収去検査における不良率 ・区内刑法犯罪発生件数 ・区内薬物事犯の件数
<p>D.産業・経済 ～インフラ ～雇用</p> <p>◆杉並IT化率</p> <p>◆アニメ率</p> <p>◆みどりの産業事業所数(含む都市農業)</p>	<p>○新規起業件数(登記所でとれる)</p> <p>○アニメ産業従事者数</p> <p>○高齢者の就労率</p> <p>○商店街売上高(△、-大店舗)</p> <p>○課税所得の平均値</p> <p>○事業所の法人所得(△、←法人住民税)</p> <p>○昼夜間人口比率</p> <p>○NPOの雇用者数</p> <p>○商店街のカード化率</p> <p>○空店舗率</p> <p>○商店街の人気度(ピア)</p> <p>○若者の人気スポットランキング(△、ピア)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・区内事業所数 ・区内卸売り・小売販売額 ・区内従業者数(区内失業者率) ・区内事業所開設率(新設件数) ・「みどりの産業」事業所数 ・産業支援融資貸付件数 ・区内小売売上高 ・商店街空店舗発生率 ・商店街カード化割合 ・農地面積 ・販売農家数(率) ・区内の(財)勤労者福祉協会への加入事業所割合 ・杉並区における失業率 ・女性の就職率 ・職場における男女平等意識率 ・65歳以上の就労率 ・民間企業における障害者の実雇用率 ・NPO法人数 ・ボランティアに参加したことがある区民の割合【ア】

<p>E. 自立 (人が育つ) ~教育・育児 ~生涯学習 ◆学力比較(△塾に聞く) ◆授業に使用したインターネットの率、学校ネット利用率(アクセス・トラフィック数) ◆全国(都)大会に出場した子供の数(スポーツ・文化含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学校評議員会の開催回数 ○ゲストティーチャーの数 ○ボランティアに参加したことがある区民の数 ○女性の参画指数(委員数) ○学校希望制に納得している人の数 ○パソコン、インターネットを使える教員の数 ○学校のIT化 ○不登校児童生徒数 ○通訳ボランティアの数 ○NPO法人数・NPO法人化率 	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校の学習内容を理解している児童・生徒の割合 ・不登校児童・生徒数 ・小学校新就学児のうち指定校以外へ就学する児童の割合 ・公立・私立在籍率(小・中学校) ・体力診断テストで全国平均を100としたときの杉並区の数値 ・検診時の児童・生徒の平均疾病数(疾病には虫歯を含む) ・学校内事故数 ・耐震化実施校数 ・余裕教室活用数 ・校地内の緑の率 ・園児、児童、生徒1人あたりの運営費 ・1クラスあたりの園児・児童・生徒数 ・1施設あたりの園児・児童・生徒数 ・心障学級、区立養護学校に就学している児童、生徒の数 ・登校拒否から復帰した児童生徒数 ・情緒障害学級等通級指導学級に通う児童生徒数 ・教育のための経済的支援を受けている人の合計数 ・地域活動・ボランティアに参加した児童・生徒数 ・PTA活動率 ・学校開放全施設の年間のべ利用者数 ・学校パソコンの一般利用の使用回数 ・住民が利用可能なスポーツ施設・室内プールの数 ・親と一緒に食事をしないことが週2回以上ある児童・生徒の割合 ・区の運動施設の利用率 ・生涯学習・スポーツ活動に参加している区民の割合(ア) ・区民1人当たり蔵書数 ・区民1人当たり年間貸出冊数 ・貸出登録者数(登録率) ・消費者相談のうち、自主交渉(助言含む)の割合 ・消費者相談件数 ・教室、グループ室等施設の利用率 ・区の文化事業への参加者数 ・区文化財の指定・登録数 ・区の後援、共催により事業を実施した団体数及び参加者数 ・区立の文化施設利用者数 ・区内文化施設数(民間を含む) ・町会、自治会加入率 ・地域活動への参加率(ア) ・語学ボランティア登録数 ・区の平和関連事業への参加者数 ・交流事業参加者数 ・審議会等における女性委員の登用率 ・男女平等意識 ・区内関係機関における女性の人権に関する相談件数
<p>F. 区政経営 ~財政 ~区民共同 ◆区民当たりの行政コスト ◆区民の区政満足度(CS) ◆タウンミーティング(直接対話者)数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○選挙投票率 ○区民1万人あたりの職員数 ○区民の要望・苦情件数 ○区民1人あたりの負債額 ○自主財源率 ○アウトソーシング率 ○職員のやる気指数(モチベーション率) ○庁内IT化率(庁内メールの数) ○地域活動に参加した区民の数 ○公募委員数or応募者数 ○HPアクセス数 ○情報公開件数 	<ul style="list-style-type: none"> ・落札率 ・庁内印刷と外注印刷の比率 ・職員一人当たり超過勤務時間数 ・区民処理要望における窓口対応への要望件数 ・区政相談課に寄せられた「お礼」と「苦情」の件数比率 ・区有施設床面積 ・投票率(その年の平均) ・20.30歳代の投票率(その年の平均) ・意見・要望件数 ・区のホームページ訪問件数 ・区民の区事業への参加率(ア) ・杉並を住みよいと思う区民の割合(ア) ・事務事業評価表の「改善余地なし」の割合 ・職員提案の件数 ・経常収支比率 ・公債費比率 ・情報公開請求件数 ・職員数 ・人件費比率 ・ラスパイレス指数 ・職員研修効果の達成度 ・ホームページでダウンロードした各種申請様式の区民利用率 ・年間ホームページ掲載件数 ・公募制導入委員会数・審議会数 ・歳入総額に占める国庫支出金及び都支出金の割合

杉並区ベンチマークの考え方(小委員会による整理)

小委員会において、指標を検討する過程で整理された杉並区政策指標のつくり方については、次のように整理される。

1 杉並区指標の基本的な視点

- ① 区民に分かりやすく、関心をもってもらうため変化する指標とする
- ② 杉並らしさがでる指標
- ③ 統計的に毎年取れる指標
- ④ 政策指標は限定した数にする(区民がそらんじられる程度)
- ⑤ 比較可能な指標(経年比較、他の自治体との比較)
- ⑥ 政策指標は、完全性・包括性を追求せず、これらは施策・事務事業の指標で対応する
- ⑦ 指標は、状況に応じて柔軟に変化する(中短期の目標設定に用い、目標が達成されたら他の指標に替わるー基本計画のスパン等)

2 指標の構成

- ① 大指標を6分野に割り振る(1~3)
分野のカテゴリー、キーワードは、A 安全・安心、B みどり・環境、C 健康・福祉、D 産業・経済、E 自立(人が育つ)、F 区政経営
- ② 大指標の下、中指標を置く(18~30)
- ③ 指標の候補は、区民アンケート等のためやや多めに選定する

3 詰めなかった課題

指標の名称

- ・ 名称候補(・みどり指標、・杉並マーク、等)
- ・ 指標のネーミング(演出、しゃれていい)

第1回政策指標等検討小委員会議事録

平成13年11月7日

○事務局資料・・・ベンチマーク事例集について説明

- ・ オレゴン：すぐに政策・施策に結びつくわけではないが全米での順位を掲げている
- ・ 青森：住民の巻き込み方に特徴、すぐに合意形成に役立つわけではないが、県民参加という意味で重要
- ・ 東京：都政モニターなので意識が高い・・・作っただけ
- ・ 滋賀：庁内職員が作成、県民参画のためのアリバイ作り
- ・ ムルトマ：青森に似ている
- ・ 三鷹：基本計画とは分けて作成、作成に巨額の予算を投入
- ・ Q 杉並区の意識調査の結果は素案に反映しているか A している
- ・ Q 指標は行政計画と連動しているか A 完璧な連動をしているものはない
- ・ Q 目標年次を定めているか A きっちり定めているものはない
- ・ Q 指標のスパン（どの程度の期間を定めているか）
A 杉並では、21世紀ビジョン25年 基本計画10年 実施計画3年
- ・ Q 数値目標の設定をしてオレゴン州での効果は？ A 特にない
- ・ Q 分野型計画型比較しやすいものはどちらか？
A 比較は毎年できる、指標の定義が違うので定義をきっちりしないとイケない。
- ・ Q 各区で比較できるような指標を東京都は作ったか
A ない / 湘南ベンチマーク：特定な指標のみ比較できるようにしている / 区では江東区
- ・ Q 時間と金をかけて機能しない評価指標を作っている。指標を作る意味は何か？
A 機能しているかどうかは今後比較していく

ベンチマークをどう作るか

- ・ 目標値の設定は政治が行うこと
- ・ 区民が努力すれば数字に表れるものを指標とする
- ・ この指標がモデルであり、始まりであり、スタートとして変更しても良い
- ・ 基礎的自治体として、共通の視点をもつ
- ・ 目標値をどうするか・・・単純に設定できない
- ・ 行政指標と協働指標の違いは？

- ・ 協働指標は、シュアード・アウトカムで、区民の目標も必要になる
- ・ 行政の内部で評価する指標（50～80）は別の評価システムで設定すれば良い
- ・ 政策指標は限定した数で良い

○住民を巻き込む指標を設定するか否か

- ・ 策定過程に関与する指標と測定に関与する指標の2つの選択肢がある
- ・ 行政に命令する指標がよい、協働指標ほど行政は責任を逃れられる
- ・ 行政指標と協働指標の両方の指標を考えたい

ベンチマークを区の政策指標にどのような役割として位置づけるか。目的は？

- ・ 行政実態を身近に感じたい
- ・ 情報公開をきちっとやって、必要な情報を的確に伝えてほしい
- ・ 行政が何をやっているか、財政の効率化が見える
- ・ サイレントマジョリティがどの程度区政を面白がってくれるか
- ・ 行政が、「わかりやすく」の努力をしているか
- ・ ベンチマークは21世紀ビジョンの推進できるもの
- ・ 指標は区民のツールとしてビジョンを加速させる
- ・ 政策指標は、階層性になっているので、少ない方が良い
- ・ 指標のネーミング、演出しゃれていい
- ・ ベンチマークは完成性・包括評価にはなじまない
- ・ 協働指標をいれて欲しい・・・具体的にどのように測定できるか難しい

指標の数

- ・ 数は50～60ではなく固定10・変動10の20程度。A4版1枚に入る程度が良い
- ・ 指標の数は、見なくても頭に入っているくらい少ないほうが良い。

指標のイメージのまとめ（以下の4つの目的を持ってもらう）

区の行政をわかってもらう・区民に関心を持ってもらう

効率性を高める

21世紀ビジョンの推進を促進支援する

わかりやすくするため限定した指標で重点的に行う

- ・ それ以外にも、人口動態の視点も大切（例・住みやすい所ほど高齢化は進む）

事務局資料・・・施策指標（素案）について説明

- ・ 指標として毎年度、数値の取れることが大切。取れないものは除いてほしい（次回までの宿題）

杉並区のベンチマークをどのような名称にするか(次回までに考えてきてほしい)

- ・ みどりの指標・みどり指標・すぎなみマーク・すぎなみチェック・すぎ丸・スマート
- ・ よい名前があれば区民に選んでもらう方法もある。

次回は上位の指標を検討したい。

- ・ 指標をイメージする。各自、5～10の指標を考えてきてほしい。

第2回政策指標等検討小委員会議事録

平成13年11月27日

○前回宿題のベンチマーキング指標の分野別分類及び指標10個前後について発表してもらう

- ・子育て支援・子育て支援・青年（中高校生）大学・成年・中年・熟年・シニア・シルバーなどのライフサイクルごとに指標を設けると分かり易いのではないか
- ・「危機管理、安全・安心、命を守る、協働・参画、情報公開、透明性」などをキーワードにしたい
- ・・・以上約1時間・・・

○今までの議論を整理すると

- ・分類は、ライフサイクルで分ける、分野別で分ける、21世紀ビジョン・基本構想と連動させる等が考えられる
- ・ライフサイクルで分けるのは面白いが、もれる要素（分野）が出てくるのではないか
例えば、コミュニティ、ITなど
- ・分類は分野が違っているだけで内容は大きく変わらない

○ワーキングチームの目標として、代表的でインパクトのある指標の合意を得たい
ライフサイクルで分けても項目もれがなければよい

○具体的な指標の検討

- ・指標数はどのくらいが良いか
 - ・暗記ができるくらいなら5つ程度、包括的・体系的には10個程度がよい
 - ・それぞれの部の指標がなくても良いか/部ごとに1～2個振り分ける方がうまくいくのではないか
 - ・5部制、教育委員会を入れて6部制だが、基本構想とは完全には対応していない
 - ・まず5つを目標にスタートする
 - ・行政指標・協働指標は指標をぶら下げるところで検討する

○指標の分野を具体的に設定していくと

- ・1番として「安全・安心指標」

- ・ 防犯・防災だけでなく危機管理上の指標が必要・セーフティネット
- ・ 2番目として「緑・環境」・・・都市環境、道路交通問題
- ・ 少子高齢化問題・・・若い人と高齢者の2つの指標を出したい（世代間競争があるので2つとも）
- ・ 教育には、子育ては入らないか（3番目）
- ・ なるべく教育という言葉を使わないで教育が入る指標はないか
 - 学びや、学び指標、情報共有できる指標
- ・ 学校教育と社会教育を合わせて生涯教育という言葉が出てきたのではないか
- ・ 緑の産業・産業振興はどのジャンルか（4番目）
- ・ 区の財政・豊かさ・・・区役所の体力、お金、職員の問題・・・5番目として「区政経営」
- ・ 福祉とコミュニティ
- ・ 雇用・産業・・・「産業・経済」へ
- ・ 文化・・・「緑・環境」へ入らないか
- ・（都市としての）基盤整備はある程度終わっているか・・・終わっている
- ・ 施設の数が多い
- ・ 緑は多いか・・・多くない、公園面積少ない
- ・ 健康都市指標はどうするか
- ・・・詳細は別添「杉並区ベンチマーク検討案」参照

○指標の基本的な視点

- ・ 変化するものでないと関心を持ってもらえない
- ・ ある程度身近に感じてくれる指標
- ・ 比較可能か
- ・ 統計的に毎年取れるか

○代表的な指標を2つ程度に絞りたい

1 安全・安心

ピッキング、浮浪者、住宅の耐震（耐火）補強率、狭隘道路（緊急対応可能な人口カバー率）

2 緑・環境

緑被率・・・5年に1度しか数字取れない/概念としては良いが毎年数字が取れないとまずい

ビオトープ、屋上緑化で増えていく反面、失われていく自然もある

ごみの量、不法投棄、ごみの指標は数値が取れるか・・・取れる

ごみ以外によい指標はないか

放置自転車の統計は出るか・・・駅ごとの台数は出る

3 自立(人として立つ)

文化を含めてうまい指標はないか、待機児は福祉ではないか、健康・福祉、寝たきり高齢者

生活保護・・・予算の制約もあり、あまり指標としてふさわしくないのではないか

4 産業・経済

昼夜間人口・・・昼と夜の人口変動少ない方が良く、課税所得の平均値

5 保健・福祉

高齢化・健康寿命

6 人が育つ

待機児童だけでなく、学校が楽しく思う人・・・取りにくい

良い指標はないか、

学力だけでなくスポーツ文化を含めた、全国大会出場者数・都大会入賞者数

不登校者数・・・反発出るかもしれない

○次回までの宿題

- ・代表指標案をできれば一つに絞る
- ・代表指標の下にぶら下がる指標案を考えてくる
- ・区民アンケートに出せるような案
- ・追加・修正意見があれば求める
- ・ベンチマークの名称を絞る

事務局・・・指標の数値が取れるかチェック

第3回政策指標等検討小委員会議事録

13.12.5

本日の議題の確認

- 1 代表指標への追加修正意見
- 2 大・中指標の設定
- 3 名称（愛称）案の選定

要望事項

- ・ 小指標として、福祉サービス側の回数・量・時間・職員数などサービスの利用のし易さを示す指標がほしい
- ・ 広く大きな概念を表す指標がほしい

○指標の基本的な視点（第2回議事内容）の確認

- ・ 変化するものでないと関心を持ってもらえない
- ・ ある程度身近に感じてくれる指標
- ・ 比較可能か、統計的に毎年取れるか
プラス杉並らしさが出るもの

具体的な検討

指標の基本的な視点を念頭に置きながら、多くても10個以内で大・中指標の候補を絞り込んでいった。

大・中指標を、指標の候補は別紙「杉並区のベンチマーク検討案」のとおり絞り込んでいく途中でいくつかの提案がなされた

提案1

A~Fの中指標の中で、「ボランティア参加率」「杉並区に住み続けたい理由」について共通に指標をとる。

- 1 ボランティア参加率
 - A 防災訓練参加者数
 - B 清掃ボランティア（クリーン大作戦）参加者数
 - C 福祉ボランティアの数
 - D （未検討）

E (未検討)

F 地域活動に参加した区民数

2 杉並区に住み続けたい理由

A 安全・安心だと感じる区民の割合

(安全・安心なまちだから・交通の便が良いから住み続けたい)

B まちを美しいと感じる区民の割合

(緑が豊かだから・ごみがないから住み続けたい)

C (福祉サービスが充実しているから)

D (未検討)

E (教育施策が充実しているから)

F (行政サービスが充実しているから)

大指標について

- ・ 大指標の名称 (A~F) は、検討委員会 (全体会) でもう少し検討する
- ・ 代表指標の案
 - 1 代表指標 1 つ
 - 2 代表指標 2 ~ 3
 - 3 星取表 (藤原委員より提案あり、別紙のとおり)

政策指標の愛称について

- ・ すぎなみマーク
- ・ みどり指標
- ・ 杉並みどり指標

愛称についても、検討委員会 (全体会) でもう少し検討する

[杉マル(○)星取表]

(太字は基本指標、また下線は本年度重点指標)

A.危機管理 6勝5敗	<ul style="list-style-type: none"> ○駅前放置自転車の台数(災害時に危険) ●耐火耐震建物率 ○救急車到着時間 ●狭あい道路整備率 ○区民1人あたりの自転車台数(△) ●交通事故死亡者数(交通事故統計) ●犯罪発生率 ○耐震補強済み学校数 ○防災・防犯活動団体数 ●杉並区を安全・安心なまちだと思う区民 ○区内在住職員比率(△) (11) 	駅前放置自転車台数の欄で指標の簡単な説明をする
B.省資源と環境 5勝6敗	<ul style="list-style-type: none"> ●1人あたりごみ処理量 ○1人あたりの電力消費量(△東電より) ●図書館貸し出し冊数or利用者数 ○区役所のエコカー導入率 ○公共施設の緑化率(△) ○公共施設の屋上緑化面積(△) ●みどり・環境保全活動団体・個人数 ○文化活動をしている団体・個人数 ●文化的生活時間(△、NHK) ●若者を引き付けるまちの魅力度ランキング(△、アクロス) ●杉並区に住み続けたい人の割合(緑が多い・環境がよいので) (11) 	一人あたり年間:排出量÷人口
C.健康と長寿 10勝7敗	<ul style="list-style-type: none"> ○健康寿命(65歳以上要介護認定までの平均自立期間) ●子供の生活習慣病(罹患)率 ○人口当たり福祉マンパワー(高齢・障害別) ○要介護認定新規認定者平均年齢 ○医者にかかった回数 ●国保1人あたり医療費 ○1人あたり老人医療費 ○平均寿命 ●区民の健康診断受診率 ○公共施設のバリアフリー度 ●保育園学童クラブ待機児童数 ●区内企業障害者雇用率(△職業安定所) ○12歳までにすべての予防接種を終了している人の割合 ●若年者結核罹患率 ○法定伝染病罹患率 ●福祉ボランティア(点字、手話等)数 ○杉並区に住み続けたい人の割合(福祉が進んでいるので) (17) 	
D.みどりの産業	<ul style="list-style-type: none"> ○杉並IT化率 ○アニメ率 ○みどりの産業事業所数(含む都市農業) ○新規起業件数(登記所でとれる) ○アニメ産業従事者数 ○高齢者の就労率 ○商店街売上高(△、-大店舗) ○課税所得の平均値 ○事業所の法人所得(△、-法人住民税) ○昼夜間人口比率 ○NPOの雇用者数 ○商店街のカード化率 ○空店舗率 ○商店街の人気度(ピア) ○若者の人気スポットランキング(△、ピア) (15) 	
E.自立と文化	<ul style="list-style-type: none"> ○学力比較(△塾に聞く) ○授業に使用したインターネットの率、学校ネット利用率(アクセス・トラフィック数) ○全国(都)大会に出場した子供の数(スポーツ・文化含む) ○学校評議員会の開催回数 ○ゲストティーチャーの数 ○ボランティアに参加したことがある区民の数 ○女性の参画指数(委員数) ○学校希望制に納得している人の数 ○パソコン、インターネットを使える教員の数 ○学校のIT化 ○不登校児童生徒数 ○通訳ボランティアの数 ○NPO法人数・NPO法人化率 (13) 	
F.区の健全経営	<ul style="list-style-type: none"> ○区民当たりの行政コスト ○区民の区政満足度(CS) ○タウンミーティング(直接対話者)数 ○選挙投票率 ○区民1万人あたりの職員数 ○区民の要望・苦情件数 ○区民1人あたりの負債額 ○自主財源率 ○アウトソーシング率 ○職員のやる気指数(モチベーション率) ○庁内IT化率(庁内メールの数) ○地域活動に参加した区民の数 ○公募委員数or応募者数 ○HPアクセス数 ○情報公開件数 (15) 	

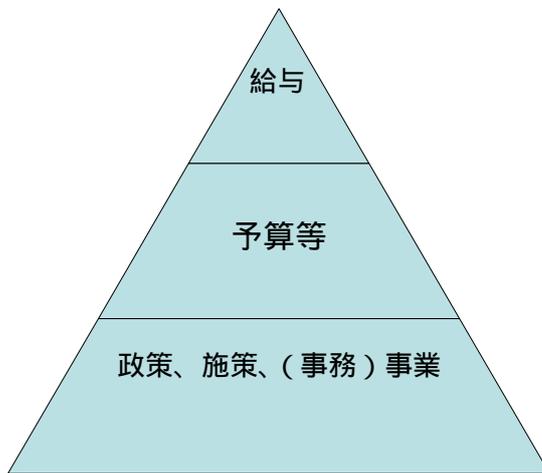
(合計82)

杉並区行政評価検討委員会 (小委員会兼用資料)

2001 年 12 月 5 日

1 行政評価システムの全体図と考え方

人事政策評価 (人) } 全体の行政評価システム
財政政策評価 (金) } (連携したもとして捉えること
業務政策評価 (働) } で区民にとって、わかりやすいもの
となる。アカウンタビリティと効果・効率不可欠)



(1) マネジメントシステム (P . D . C)
の中で評価 (C) の部分で人の管理、税金の
管理、仕事の管理の 3 つについて、アカウン
タビリティ (結果責任を伴った説明責任) を
行政は納税者、受益者、区民及び市民に対し
追っている。

(2) 行政は従来 of 利害関係者に対する調整
にとどまることなく、(1) についての責任
をプロセスの明確化と透明性の確保を通じ
て、開かれた行政運営システムの構築に向け
た計画的な推進が 21 世紀ビジョン、基本計

画、スマートすぎなみ計画によって求められている。

(3) 区民参画と協働については、様々な角度から長所・短所を含めて総合的な把握を企
図すると同時に、具体的な事業、事務事業、施策実施に伴う評価の積み上げから見えてく
る成果指標のありからとの整合性をはからなければならない。

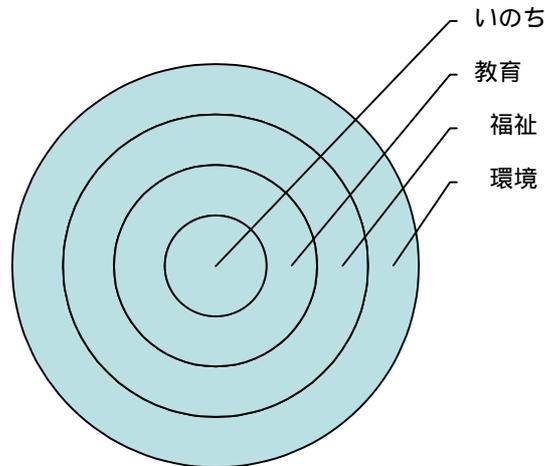
2 ベンチマーク (政策評価指標) ・ ・ ・ 定量指標と定性指標との複合型とする。

(1) 行政の役割

区民自身、NPO、企業等では解決できない最低限度のいのち、安全、安心指標を
第一優先順位の指標とする。

(2) 教育委員会と区長部局との適切な関係、関係づくりを前提とした教育指標 (自立・
人が育つ) を第 2 優先順位指標とする。

(3) 最低限度の文化水準指標と上乘せ、横だし福祉指標を第 3 順位指標とする。(健康、
福祉)



具体的指標(案)

- ボ ・ 既存の施策・事業の再評価チャレンジ指標(続ける理由、やめる理由の明確化)
- ボ ・ 区民のアイデアを活かした事業展開数(難易度によるチャレンジ成果指標)
- ・ 職員の杉並区在住率、避難場所アクセス時間割人数比率
- ・ 職員給与水準
- ・ 職員給与比率
- ・ 信賞必罰制度の導入
- ・ 公募比率(審議会、懇談会、検討委員会)
基準の明確化と公開、当選の理由開示
- ・ 参加(参画)比率(企画運営人数:参加人数)
- ・ 予算に反映される事業等の評価基準の明確化
- ・ ライフサイクル別評価の可能性の追求(わかりやすさの視点から)
- ・ 協働研修の場の設定数と参加比率(相互理解、問題意識の共有目的)
- ・ 情報公開(プライバシーを除く)の総数とプロセスの透明性の確保
- ・ 行政と区民とのいい関係づくりの大前提としてのコミュニケーション指標
- ・ 区民と向きあつての話し合い指標
- ・ 結果の平等ではなく機会の平等の確保とプロセス重視の考え方
- ・ IT指標(ネットワーク促進) 初心者/中級者/上級者
- ・ コミュニティ形成指標(区民全般ではなく、学校単位のコミュニティ、境界への配慮不可欠)
- ・ 既存施設の有効活用
- ・ 子育て、子育て支援~家庭、地域、行政の連携支援、学校・児童館の連携、障害児への配慮、
- ・ 青年(中高生)支援~ひきこもり、不登校、進路指導、好きなこと発見
- ・ 大学生支援~進路指導、
- ・ 成年・中年支援~雇用、社会参加
- ・ 熟年(シニア)支援~第2の職場確保
- ・ シルバー~介護、医療、保健、年金